

## 平成26年度「みえの現場・すこいやんかトーク」(南伊勢町)の概要

12月23日(火・祝)に「南伊勢町役場南島庁舎」で「みえの現場・すこいやんかトーク」を開催しました。

当日は、南伊勢町の地域づくりに取り組む「古和浦未来クラブ」及び「GGB倶楽部」の皆さん8名(各4名)に、活動内容や課題、行政へ期待していることなどについて、ご意見などをお伺いしました。



### 【参加者からの発言】

それぞれの代表から、団体の活動について紹介していただいた後、メンバーの皆さんから、自身の主な活動の報告を含め、自己紹介していただきました。

(「古和浦未来クラブ」の活動内容紹介)

○旧・南島町の頃、古和浦の有志が集まって、国道沿いで物産販売を始めた。その後、平成18年に現在の店舗を建て、毎週土・日曜に南伊勢町の特産物を販売している。

(「GGB倶楽部」の活動内容紹介)

○「GGB」とは「芸術(G)」「芸能(G)」「文化(B)」の意味。芸術・芸能・文化を通じて町に賑わいと元気を取り戻し、地域の活性化につなげていきたいと考えて設立した。今年の春には第1回の「ふれあいまつり」を開催し、大盛況だった。

**Q. 活動に参画して良かったこと、嬉しかったこと、成果についてお聞きしたい。**

(古和浦未来クラブの皆さん)

○地元のおいしい魚を調理し、真空パックで冷凍、電子レンジにかければ食べられるという新商品を開発して、「煮ちゃいました」というネーミングで発売したところ、生産が追いつかないほどの好評を得ている。これは私たちの自慢。

○クラブの主催で、ミニバスケットボール大会を開催している。子どもたちを元気に、そして町を元気に、ということで始めた。魚のつかみ取りもあわせて行っており、毎回終わった後に「今度はいつやるんですか」といった声をもらうと、「やらなけれ

ば」という思いになる。

- メンバーの職業は多種多様。そのメンバーがそれぞれの知恵を持ち寄って活動していることが、長続きしているコツかもしれない。
- クラブのメンバーとして様々なところに足を運び、干物の販売をする中で、「自分だけで100個の商品を並べても売れないものが、3軒の業者と一緒に商品を山と積みば売れていく」ということなど、自分の常識が間違っていたと勉強させてもらった。  
(GGB倶楽部の皆さん)
- 「ふれあいまつり」では、町内3社の養殖会社の協力により、マグロ3本まとめでの解体ショーを行った。南島豊漁太鼓とのコラボレーションで、ショーのBGMとして演奏してもらったところ、涙が出るほど感動したという声があり、本当によかったなと思った。さらに賑やかな祭りにしていきたい。
- 長らく和太鼓に携わっているが、芸術・芸能・文化というものは、他人に見てもらうということが意欲向上につながるのも非常に大事だ。その意味でも、ふれあいまつりに沢山の人が来てくれたことはとても良かった。
- 山野草の会に入って活動している。山野草のみの展示会では来場者も限られてしまうが、ふれあいまつりでは様々な分野のコラボレーションで多くの人に見てもらえて、とても良かった。
- 退職してから、友達との出会いを求めているいろんなことに参加してきたところ、ちょうど声をかけてもらったのがGGB倶楽部だった。ふれあいまつりでは、普段なら声をかけて話をする事のない人との出会いが、とてもいい経験になった。

#### **Q. 活動していく中での課題等、今後につなげていくことについてお聞きしたい。**

(古和浦未来クラブの皆さん)

- 釣堀を営んでいるが、高速道路が延伸したことによって、人の流れが全く変わったのを感じている。そうした中で、周りの地域を巻き込みながら客足を呼び込み、東紀州全体を活性化したい。
- クラブとして10年以上活動してきたが、あまり肩肘張らず、毎週土日に寄り合っただけで他愛のない話を交わすことが、長続きしてきた秘訣だと思っているので、これからも仲良く元気に盛り上げていきたい。  
(GGB倶楽部の皆さん)
- いろいろなイベントを開催していくには、様々な業種の人たちにもっと寄り集まってもらいたい。県からも、パネル展示での広報などで参加してもらいたいと思っている。
- 祭りにランドマークや目玉のようなものがあれば、一層盛り上がると思っている。例えば、武田美保氏をゲストに招くことができればという思いがある。

#### **【知事の発言】**

- 「煮ちゃいました」は、我が家のような共働きの世帯などにも非常に便利で助かる商品だ。
- 「魚のつかみ取りができるミニバス大会」というのは世界で唯一だろう。「皆が元気になるなら、やればいいじゃないか」と一歩を踏み出す大切さを感じた。

- 芸術・芸能・文化の表現の場ができることで、表現者自身も元気になり、さらに頑張れるという好循環ができていく。
- あえて違うグループの土俵に立ったり、連携し合ったりすることで相乗効果が生まれるというのは、とても大事なことだ。
- 自分だけで売るよりも、他者と連携すればたくさん売れるという干物販売の話は、自治体の観光についても同じことが言える。
- パネル展示など、お知らせをさせていただける機会があれば、むしろ県としてありがたいことだ。担当者にご相談いただきたい。



- 「古和浦未来クラブ」の皆さんは、「子どもたちに夢を与え、地域を盛り上げたい」との思いから、地元古和浦の有志 13 名が集まって平成 14 年に設立した団体です。
- 「GGB 倶楽部」の皆さんは、もっと元気で笑顔のある町にしようと考え、たくさんの人に南伊勢町の芸術（G）、芸能（G）、文化（B）を知ってもらい、五感を刺激してたっぷり楽しめる一日をつくることを目的に、平成 26 年に設立された団体です。